

二学年便り

令和3年9月1日
広島市立東原中学校
第二学年



川を下る落鮎 季節は秋へ

落鮎の季節になりました。鮎は秋から冬にかけて川の下流で産卵・ふ化し、河口域や砂浜、海岸で過ごした後、春になると川を遡上し、夏の間に中流や上流域で過ごして大きくなります。川中の石に付いた苔を食べるため、塩焼きにするとき、他の川魚と違って内臓を取り出さなくても食べられます。内臓の苦みが何とも言えず、愛好家にはたまりません。鮎は苔の付く岩を独占しようと縄張りをつくり、自分の縄張り内に入ってきた他の鮎に体当たりなどの激しい攻撃を加える性質があります。この性質を利用して鮎を釣り上げるのが「友釣り」で、囃鮎を泳がせ、体当たりしてきた鮎を釣り上げる釣り人の姿は、日本の夏の風物詩です。夏の頃には灰緑色だった体が、秋には赤みを帯びた婚姻色へと変化します。鉄が錆びたような色にも見えることから、「錆鮎」とも呼ばれます。また、産卵のため下流域への降河する、この行動を指して「落鮎」と呼ばれることもあります。産卵後は体力を消耗し、海へ入って死んでいくのですが、子孫を残した後、じきに死ぬ運命にある鮎の哀しさと、秋の寂しさが感じられる言葉です。いよいよ季節は秋へと移ります。

初めての本格的夏休み 頑張った部活動

36日間の夏休みが終わりました。昨年は臨時休校の埋め合わせで短かった夏休み。今年は例年通りの夏休みとなり、2年生にとっては中学校での初めての本格的夏休みでした。生徒達は有意義に過ごせたでしょうか。

今年の夏も暑かったですね。と思いきや、お盆からは梅雨を思わせるような連日の雨。災害級の大雨も降り、数年前の西日本豪雨災害等を思い出して心配する中、県市内でも実際に浸水や土砂災害も起きました。やはり、自然の力の恐ろしさを改めて感じさせられました。そんな中、学校では部活動を頑張るたくさんの生徒を見ることができました。生徒たちは暑さに負けることなく、炎天下のグラウンドやテニスコート、蒸し風呂のような体育館、武道場、音楽室、美術室、理科室で、3年生にとって最後の大会となる市総体やコンクール、文化祭に向けて一生懸命頑張っていました。若さって素晴らしいですね。オリンピックとまではいかなくとも、きっと、それぞれの部活動でドラマがあったことと思います。そのことは一人一人の人生の中でずっと輝き続けていくことでしょう。コロナ禍で参加できなかった2年生もいたかもしれませんが、引退する3年生の涙を側で見るのができた2年生は、きっと何かを感じることができたのではないのでしょうか。

世代交代

「失礼します。〇〇部2年の□□です。部室の鍵を取りに来ました。」夏休み途中から、職員室に2年生の初々しい声が聞こえるようになりました。運動部では夏休みに3年生が引退し、2年生が最上級生となりました。各部とも新しい部長を選出し、新体制となって張り切っています。自分たちの目標に向かって、団結・協力し、努力を継続して行ってほしいものです。今のフレッシュな気持ちを忘れることなく、最後までやりきってほしいと願います。言うまでもなく部活動は集団での活動です。一人一人がバラバラに活動しても力つきません。リーダーを中心に、まとまって活動しなければなりません。そのために、基本である「あいさつ」「整列」等の集団行動を徹底することが強くなるために不可欠です。部長を中心に、まずは2年生が団結し、率先垂範して活気ある雰囲気をつくっていきましょう。運動部の世代交代は夏休みですが、11月には生徒会の役員選挙(立候補受付10月)があり、生徒会も世代交代です。いよいよ、この学年がリーダーとなり学校を引っ張っていかねばなりません。これまで学級や学年で身につけた力を発揮するときが来ました。一部の人だけが頑張るのではなく、学年全体で支えていけるようにしたいものです。

学年・学校の様子(7月・夏休み・8月)

7月・夏休み・8月の学年・学校の様子をお知らせいたします。
掃除前の休憩時間にふざけ合いが発展して掃除道具の破損があり、家庭と連携して指導をしました。掃除時間にふざけ合いが起こってはいけないし、掃除道具を乱暴に扱ってはけません。また、下級生に対する嫌がらせ・セクハラ(卑猥な言動でのからかい)があり、家庭と連携して指導しました。上級生として、下級

生には親切に接するべきであり、決して嫌な思いをさせるようなことをしてはいけません。また、性に関する内容を面白がって言ったり、周りが聞いて嫌な思いをするような発言をしてはいけませんを指導しました。放課後学習会での態度についても指導しました。また、友達が良くないことをしている状況に遭遇した時には、きちんと注意できるようにということも指導しました。お互いに高め合える友達関係であってほしいと願います。夏休み中は学校としても大きなトラブル・苦情等は聞いていません。生徒達が節度をもって行動してくれたものと思います。夏休みが明けて、再び緊急事態宣言が発令されました。前回同様、部活動のない生活となります。放課後や休日の自由な時間が増えるわけで、この自由な時間をどう過ごすかが問題です。何より感染拡大防止です。集まって騒いだり等以ての外です。

平和短歌(8/6)

8月6日(金)、登校日に平和学習を行い、平和の大切さについて考えました。2年生は最後に平和の祈りを込めて「平和短歌」をつくりました。一部紹介します。

世界中 スマイルずつと ふおーえーばー 原爆0に 戦争0に	カーテンを 開ければあるその 日常を これからもずつと つづけた	戦争で 亡くなつていった 人よりも 平和を広める 人が増えたら	平和への 想いをつなぐ 世界へと 折りづる折つて はじめの一步	未来へと 「小さな力」は 動き出す 世界に届く 平和の想い
[1組]	[2組]	[3組]	[4組]	[5組]

キャリアプランニング(スコラ手帳の有効活用)

今年度は月に1時間、総合的な学習の時間に「キャリアプランニング」と銘打って、スコラ手帳の有効活用を指導しています。生徒達は翌月の学校行事や部活動の計画表を立てながら計画を立てます。また、毎時間の教科の学習においても、単元テストや小テストの日時や範囲などをその場で書き込めるようにしています。テストの日時や範囲を記入するところまではできるとは思いますが、やはり大切なのは、学習計画を立てて実行することです。様々な行事や部活動、生徒によっては習い事等それぞれの予定を見ながら、実効性のある学習計画を立てることが大切です。社会に出るために必要な力を今から育てていきたいと思っています。
[なりたい自分になるために]



① 提出物、レポート、リポートを上げる	② テスト勉強を頑張る	③ 授業の復習をする	④ スコラ手帳にいつやるか計画を立てる	⑤ 授業が終わったら、習った所のページにふせんをはる	⑥ できるだけ習った日のワークをやる
⑦ 予習をする	⑧ 家庭学習をたくさんする	⑨ これもやってみよう!	⑩ 一週間以内にやる!というイメージより、その日にやる!というイメージでやる	⑪ これもやってみよう!	⑫ これもやってみよう!

頑張った中国大会・全国大会

7月号で県選手権大会出場の部活動を紹介しましたが、県大会を見事に勝ち抜き、夏休み中に開催された中国大会・全国大会へと出場した部もあります。2年生の中にも出場した生徒がいます。

【中国大会出場】
陸上(3名) [3位・6位・10位] 水泳(1名) [8位] 男子バレー [3位] 吹奏楽 [金賞]
【全国大会出場】
陸上(1名) [予選] 男子バレー [決勝トーナメント1回戦]

